



カラーでご覧になりたい方は、錦小HP「学校だより」<http://www.ueis.ed.jp/school/nishiki/>までHPでは、学校だよりで紹介できなかった写真も掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

冬場の体力づくり，“なわ跳び”に熱中！！

校舎前の校内道路に沿って、校庭の北側に10台のジャンピングボードが設置され、児童たちのなわ跳びシーズンがスタートしています。

休み時間や体育の時間には、新しい技に挑戦するために、夢中になって飛び跳ねる児童たちが急増中です。やればやるほど技も上達し、どんなレベルにあっても上達の達成感を味わえるのがなわ跳びの良さでもあります。

学校では、冬場の運動として最適な、なわ跳び運動で寒さに負けない丈夫な身体づくりを目指しています。

児童たちが一番の目標にしているなわ跳び検定も、学級ごとに体育の時間を使って行います。どの児童も頑張り、技能を高めていくことと思います。ご家庭でもお子さんの頑張りへの称賛と励ましの言葉をどうぞよろしくお願いいたします。



自転車の安全な乗り方を学びました～4年生～

11月25日に、市の生活安心課の職員の方々に来校していただき、市の主催で行われている4年生児童を対象とした「子ども自転車免許事業」が実施されました。

児童達は、事前学習として担任の教員から「自転車の安全な乗り方」について指導を受け、自転車に関する基本的な事項、自転車の正しい乗り方、自転車の通る所、交差点通行の仕方等を学び、学科試験「自転車の安全な乗り方テスト」を受けました。

当日の免許事業では、生活安心課の職員7名の方々の指導のもと、児童一人一人が実際に自転車に乗り、体育館内に設置された模擬道路上で、交通ルールを守った安全な自転車の乗り方を学びました。児童は、いつにも増して真剣な態度で自転車の乗り方講習をしっかりと受けることができました。

児童達には、今回の学習で学んだことを日々の生活の中で生かし、交通事故に遭わないように気を付けてもらいたいと思います。ご家庭でも、道路の安全な横断の仕方、自転車の安全な乗り方などについて、お子様の発達段階に合わせて具体的に指導をいただければと思います。



児童に手袋を使用させ、安全な登校にご配慮を

児童の登校時の様子を見ると、手袋をせず、上着のポケットに両手を入れている児童が見られます。学校でも指導を行っておりますが、何かにつまずいて転ぶと顔面を強打し、けがにつながりますので、手袋を使用するように、ご家庭で声掛けなど指導をお願いいたします。

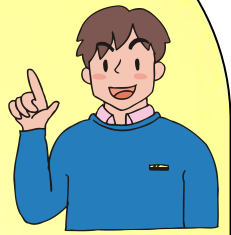


おじゃまします！！教室訪問 ～4の〇～

第8回目は、4年〇組です。担任は、M 先生です。算数の時間にお邪魔しました。

本時は、「変わり方」という単元（学習のまとめり）の第1時間目で、「伴って変わる2つの数量の関係について関心をもち、進んで調べたり表に表したりして、数量の関係を見出すことができる」ことをねらいとして授業が行われました。

授業の最初に、先生は、「今日から新しい内容の学習を始めます。これは、誰でしょう。」とサザエさんとカツオ君の絵を提示しました。児童達は、「サザエさんだ！」と歓声を上げながら、黒板を注目します、すかさず先生は、「サザエさんとカツオ君は、親子なのかな？きょうだいなのかな？」と尋ねます。児童達は、「親子じゃないの？」「きょうだいだよ！」と盛り上がった後、先生が、「サザエさんがお姉さんでカツオ君が弟というきょうだいです。」と言うとまたまた歓声が上がります。「では、サザエさんは何歳？」と尋ねると、知っている児童から「24歳です。」「では、カツオくんは？みんなと近いですよ。」と先生が言い、「11歳」という答えが出てきます。児童達はにこにこした表情で、先生の質問に反応していきます。「ということは、1年後にサザエさんは何歳になりますか？」「25歳です。」「カツオ君は？」「12歳です。」「では、2年後は、どうなりますか？」と尋ね、サザエさんの年齢が変わるとカツオ君の年齢も変わることを児童達に確かめさせます。児童達は、集中して先生の話聞き、質問にどんどん答えていきます。児童の関心や課題意識を高める教材の提示や指導が大変効果的になされています。



次に先生は、ピーンズのお菓子の写真を見せ、「こういうお菓子を見たり食べたりしたことがありますか？こういうお菓子は、どうやって買うのかな？」と尋ね、「入れ物に食べたい分だけすくって量を計ってお金を払います。」と児童から発言があり、先生は、「そういうのを計り売りというんだね。このお菓子は、100gで80円です。」と言うと、児童達は、またまた歓声を上げます。「では、この100gで80円のお菓子を200g買ったらいくらでしょう？」「160円です。」「そのように重さが変わると代金も変わりますね。」と伴って変わる2つの数量に着目させました。さらに先生は、お茶のペットボトルの写真を提示し、「次はこれですよ。この飲み物は、飲んだら減りますね。」と言い、500mlのお茶から100ml飲んだ時の残りの量は400mlになり、200mlを飲むと残りの量は、300mlに変わっていくことを確かめ、「こうした飲んだ量と残りの量のように、片方の数が変わるともう一方の数も変わっていくことについて、学習をしていきます。」と話し、本時の目当て『ともなっていく2つの数の関係を考えましょう』をノートに書かせました。

いよいよ本時の中心の学習活動に入ります。先生は、「マッチ棒18本を使って、長方形を作ります。」と言いながら黒板にマッチ棒を拡大した絵を並べてはり、「縦に2本を使ったら、横は何本になりますか？」と尋ね、児童達は、黒板を見ながら、「7本です。」と答え、問題の意図について理解をさせた後、先生は、「このほかにもできますね。いくつできるでしょうか？考えてみましょう！」と言うと、児童達は、やる気を見せながら学習に取り組んでいきました。先生は、児童の様子を確認しながら、答えが出た児童にB5サイズ程度の紙を渡し、黒板に掲示させていきました。そして、それぞれを発表させ、全部で8つの組み合わせがあることを全体で確かめた後、「この結果を見やすくするにはどうすればよいでしょう？」と児童に尋ね、表で表すとよいことを児童の発言から導き出していきました。

先生は、黒板に表をかくて児童から出された縦と横の数をまとめ、それを見て、どんなことが分かるかを考えさせました。児童達は、「縦の長さが1ずつ増えると横の長さは、1ずつ減る。」「縦の長さ」と横の長さを足すと9になる。」など2つの数の関係について自分なりの気づきを進んで発表することができました。先生は、児童の発言をもとに黒板で具体的に示しながら学習内容のまとめをしていきました。先生の分かりやすい指示や説明とともに、児童の学習内容に関する素直なつぶやきや発言がクラスの児童全体の思考を深め、広げている様子も見られ、学び合う学級となっているように感じられました。

M 先生は、コンピュータに詳しく、情報主任としてパソコン室の整備や管理、コンピュータを活用した授業についての研究リーダーとして活躍しています。M 先生とともに、4年〇組の児童たちがこれからもさらにぐんぐん力を付け、より一段と素晴らしい児童に育つことを大いに期待しています。

たての長さ(本)	1	2	3	4	5	6	7	8
よこの長さ(本)	8	7	6	5	4	3	2	1



- ※ 読みやすさを考え、教員の呼称は、「教諭」ではなく、「先生」とさせていただきました。
- ※ 地域、ホームページ用の学校便りでは、不特定多数の方の目に触れることもあるため、教職員の名前は、イニシャルにし、顔写真は、イラストにしております。ご了承ください。